

様式第二号の八(第八条の四の五関係) (第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和6年6月28日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 豊橋市神野新田町字チノ割25-1		
氏名 サンソマテクノ株式会社 代表取締役 彦坂彰一		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0532-33-2201		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	サンソマテクノ株式会社	
事業場の所在地	豊橋市内の各工事現場	
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	06：総合工事業	
② 事業の規模	元請完成工事高：156,770万円	
③ 従業員数	130人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事（土木・建築）、解体工事 ・がれき類：再生利用業者に委託して再資源化及び中間処理業者に委託して埋立処分 ・木くず：再生利用業者に委託して再資源化 ・廃プラスチック類：中間処理業者に委託して埋立処分及び再資源化 ・ガラス・陶磁器くず：中間処理業者に委託して埋立て処分及び再資源化 ・紙くず：中間処理業者に委託して再資源化 ・建設汚泥：再生処理業者に委託して再資源化 ・金属くず：再生利用業者に委託して再資源化 ・建設混合廃棄物（管理型）：中間処理業者に委託して埋立て処分及び再資源化	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社 ↓ 建設事業部長（廃棄物処理統括責任者） ↓ 土木次長・建築次長 ↓ 工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者・特別産業廃棄物管理責任者） ↓ 委託業者（産業廃棄物処理施設技術管理者）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙のとおり		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙のとおり		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり			

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず [※]	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず [※]	紙くず [※]	汚泥	金属くず [※]
	排出量	2264.83 t	7.66 t	43.91 t	29.00 t	2.70 t	11.71 t	9.04 t
	（これまでに実施した取組） 現場作業員の生活系廃棄物は、直接工事から排出される廃棄物と分別する。 再生可能な品目については、分別を徹底する。							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず [※]	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず [※]	紙くず [※]	汚泥	金属くず [※]
	排出量	2000.00 t	5.00 t	40.00 t	25.00 t	2.00 t	10.00 t	5.00 t
	（今後実施する予定の取組） コンテナへ混載している廃棄物を、種類毎へ分別を徹底する。							

①現状	現場作業員の生活系廃棄物は、直接工事から排出される廃棄物と分別している。
②計画	再生可能な品目については、分別を徹底する。

別紙

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず [※]	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず [※]	紙くず [※]	汚泥	金属くず [※]
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組） 特になし							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず [※]	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず [※]	紙くず [※]	汚泥	金属くず [※]
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし							

別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず [※]	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず [※]	紙くず [※]	汚泥	金属くず [※]
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組） 特になし							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず [※]	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず [※]	紙くず [※]	汚泥	金属くず [※]
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず	紙くず	汚泥	金属くず
	全処理委託量	2264.83 t	7.66 t	43.91 t	29.00 t	2.70 t	11.71 t	9.04 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	1.15 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.22 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	2260.83 t	7.66 t	0.00 t	0.50 t	2.70 t	11.71 t	9.04 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組） 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず*	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず*	紙くず*	汚泥	金属くず*
	全処理委託量	2000.00 t	5.00 t	40.00 t	25.00 t	2.00 t	10.00 t	5.00 t
	優良認定処理業者への処理委託料	0.00 t	4.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2.00 t	1.00 t
	再生利用業者への処理委託料	1950.00 t	5.00 t	20.00 t	10.00 t	2.00 t	10.00 t	5.00 t
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。							
※事務処理欄								

別紙

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (管理型)					
	排出量	2.00 t	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） 現場作業員の生活系廃棄物は、直接工事から排出される廃棄物と分別する。 再生可能な品目については、分別を徹底する。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (管理型)					
	排出量	0.00 t	t	t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） コンテナへ混載している廃棄物を、種類毎へ分別を徹底する。						

①現状	現場作業員の生活系廃棄物は、直接工事から排出される廃棄物と分別している。
②計画	再生可能な品目については、分別を徹底する。

別紙

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 （管理型）					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 （管理型）					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし						

別紙

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (管理型)						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	0.00 t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (管理型)						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし							

別紙

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 （管理型）						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分 を行った産業廃 棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組）							
	特になし							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 （管理型）						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分 を行った産業廃 棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組）							
	特になし							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (管理型)						
	全処理委託量	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託料	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処 理委託料	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託料	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託料	0.00 t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。							
※事務処理欄								

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 2 8 日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 名古屋市中村区亀島一丁目4番12号	
シーエヌ建設株式会社	
氏名 代表取締役 山 口 善 久	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-451-4510	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	シーエヌ建設株式会社 新幹線豊橋軌道事務所
事業場の所在地	豊橋市菰口町3丁目98番地
計画期間	2024年 4 月 1 日 ～ 2025年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	当該事業所の完成工事高 191, 121万円
③ 従業員数	23人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 → 再生処理業者に委託し建設材料として再資源化 廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託し原料・材料として再資源化 建設汚泥 → 再生処理業者に委託し建設材料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社契約管理部総括責任者 ↓ 本社契約管理部計画責任者 ↓ → 各部門計画責任者 (各部門の担当部長又は次長) ↓ → 各工事管理責任者 (事業所長・工事所長・軌道事務所長)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥 (泥状のもの) → 脱水乾燥して減量し破砕し建設資材として再資源化 発注者、下請業者と事前に産業廃棄物発生量の削減について打合せをし実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 発注者、下請負者と事前に産業廃棄物発生量の削減について打合せをし実施をする		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 (泥状のもの) → 脱水乾燥して減量し破砕し建設資材として再資源化		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類については破砕して建設資材として再資源化 混合廃棄物は分別をして排出を行うことにより、再資源化を促進できるように努める		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t t	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t t	
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
		別紙のとおり	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処理委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
(これまでに実施した取組)			
発注者、下請負者と事前に、産業廃棄物発生量削減について打合せをし、産業廃棄物の処理能力がある業者に委託している			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		t
	別紙のとおり		
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理 委託量	t	t
	認定熱回収業者への処 理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	昨年度と同様に発注者、下請負者と事前に打合せをし、産業廃棄物の処理能力のある業者に委託をする		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
6年 6月 28日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 愛知県豊橋市東森岡1丁目8番地の1	
氏名 中採工事株式会社 代表取締役 村雲 靖	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0532-88-4858	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	中採工事株式会社
事業場の所在地	愛知県豊橋市東森岡1丁目8番地の1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 : 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 : 30821万円
③ 従業員数	26人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	道路舗装工事 : がれき類 アスガラ→再生処理業者に委託しRC碎石として再資源化 コンクリートガラ→再生処理業者に委託しRC碎石として再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
社長(廃棄物処理総括責任者) ↓ 工事現場管理責任者(産業廃棄物管理責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンクリートガラ
	排出量	3,880	614
	(これまでに実施した取組) ガラ運搬時に少量での運搬を避け、過積載とならない範囲で運搬の工数を減らし、CO2排出を減らす。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンクリートガラ
	排出量	5,000 t	1,000 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った産業廃棄物の 量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 4年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	アスガラ	コンクリートガラ	
	全 処 理 委 託 量	5504 t	704 t	
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理 委 託 量	5504 t	704 t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（ 4年度）実績】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		汚泥		
	全 処 理 委 託 量		6 t	t	
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量		t	t
		再生利用業者への処理委 託 量		6 t	t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量		t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量		t	t
	(これまでに実施した取組)				

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	アスガラ	コンクリートガラ
		全処理委託量	5,000 t	1,000 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理 委託量	5,000 t	1,000 t
		認定熱回収業者への処 理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 特になし		
	※事務処理欄			

②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		汚泥	
	全 処 理 委 託 量		6 t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理 委 託 量	6 t	t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	特になし			
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和 6年 6月 28日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 豊橋市神野新田町字トノ割28番地		
氏名 株式会社中部 代表取締役 樽林孝尚		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0532-33-0500		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	株式会社 中部	
事業場の所在地	豊橋市神野新田町字トノ割28番地	
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	06 総合工事業	
② 事業の規模	元請完成工事高 1,383,36万円	
③ 従業員数	288人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石へ再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップへ再資源化 混合物→最終処分業者に委託して埋め立て処分 舗装工事 汚泥→再生処理業者に委託して改良土へ再資源化 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石へ再資源化 管工事 汚泥→再生処理業者に委託して改良土へ再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託してチップへ再資源化 (日本工業規格 A列4番)	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社土木事業部 └─ 土木事業部長(産業廃棄物総括責任者) └─ 土木事業部管理課(産業廃棄物処理担当課長) └─ 各工事現場責任者(産業廃棄物処理責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	10,675 t	32 t
	(これまでに実施した取組) 資材の梱包を減らし、出来るだけ再生利用可能な容器で納入してもらっている。 がれき類は、土草が付きやすいので、分別を徹底している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	9,600 t	28 t
	(今後実施する予定の取組) 発注者及び材料メーカーと協議し出来るだけ無駄のない施工方法を検討する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチックや金属くずは回収容器を設置し、がれき類はヤードをコンクリート壁で区切って分別保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	24 t	7 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	21 t	6 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第 2 面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）
	排 出 量	1 2 1 t	3 1 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）
	排 出 量	1 1 0 t	2 8 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第 2 面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）	
	排 出 量	3 2 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）	
	排 出 量	2 8 t	
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3,632 t	0 t
	(これまでに実施した取組) がれき類及び汚泥については、平成26年10月に再生処理施設を設置し、稼動中。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	4,000 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 再生処理施設を効率的に活用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 委託処理により実施していく。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1 0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1 1 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	7,028 t	32 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	7,028 t	32 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託と、自社処理施設による再生処理を行い、最終処分量の低減をはかる。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	24 t	7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	24 t	7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合物（安定型）	
	全処理委託量	110 t	31 t	
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	110 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t		
	（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t		
	（今後実施する予定の取組）			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	混合物（管理型）		
	全処理委託量	32 t		
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
		再生利用業者への処理委託量	0 t	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	（これまでに実施した取組）			

②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量		6,300 t	28 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理 委 託 量	6,300 t	28 t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 委託処理業者の処理施設の処理状況について、定期的に実施確認を行う。			
※事務処理欄				

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量		21 t	6 t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	21 t	6 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		汚泥	混合物（安定型）
	全処理委託量		99 t	27 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理 委 託 量	99 t	0 t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
	※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		混合物（管理型）
	全処理委託量		28 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t
		再生利用業者への処理 委託量	0 t
		認定熱回収業者への処 理委託量	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和〇〇年度の産業廃棄物発生量及び令和〇〇年度の目標

(單位：t/年)

産業廃棄物の種類 (名称)		単位: t/年						合計
項目								
○ 年 度 の 実 績	○○年度の産業廃棄物発生量							0.00
	①自ら再生利用した量							0.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)							0.00
	③自ら中間処理により減量した量							0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量							0.000
	⑤全処理委託量							0.000
	⑥優良認定処理業者への処理委託量							0.00
	⑦再利用業者への処理委託量							0.00
	⑧認定熱回収業者への処理委託量							0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							0.00
○ 年 度 の 目 標	○○年度の産業廃棄物発生量							0.00
	①自ら再生利用した量							0.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)							0.00
	③自ら中間処理により減量した量							0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量							0.00
	⑤全処理委託量							0.00
	⑥優良認定処理業者への処理委託量							0.00
	⑦再利用業者への処理委託量							0.00
	⑧認定熱回収業者への処理委託量							0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							0.00

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		2024年6月27日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県豊田市豊栄町1丁目117番地		
氏名 株式会社伊藤工務店 豊田支店		
取締役支店長 伊藤 敬		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0565-28-1491		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	株式会社伊藤工務店 豊田支店 (豊橋市内各現場)	
事業場の所在地	愛知県豊田市豊栄町1丁目117番地	
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	06. 総合工事業	
② 事業の規模	8,526百万円 (2023年度豊田支店全体売上高)	
③ 従業員数	58名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	元請 廃棄物発生者として委託契約により 100%中間処理業者へ委託 (産業廃棄物管理票管理) ※自社に中間処理施設、最終処分場は保有せず	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 1. 設計段階での改善 2. 施工段階での改善 3. 材料のプレ加工 4. 配線等のユニット化 5. 材料の無包装化 6. 機器類の簡易梱包化 7. 分別の奨励と再利用の促進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記取り組みを継続して実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ がれき類、廃プラスチック類、金属くず、木くず、廃石膏ボード、ダンボールなど、工事現場の状況に応じ数品目に分別 ・ 生活系ゴミ（一般ゴミ）持ち帰りの徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記取り組みを継続して実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（2023年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t	
	(これまでに実施した取組)				
	・特に実施していない				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t	
	(今後実施する予定の取組)				
	・実施する予定はない				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（2023年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり			
	全処理委託量	t		t	
		優良認定処理業者への処理委託量	t		t
		再生利用業者への処理委託量	t		t
		認定熱回収業者への処理委託量	t		t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t		t
	(これまでに実施した取組)				
	・可能な限り再資源化施設や再利用業者へ処理を委託し、最終処分量の低減を図る				

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		別紙のとおり	
		全処理委託量		t	t
			優良認定処理業者への処理委託量	t	t
			再生利用業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)			
	・上記取り組みを継続して実施				
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 6月30日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 豊橋市東新町245番地	
氏名 青山建設株式会社 代表取締役 青山 泰三	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0532-54-6385	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	青山建設株式会社
事業場の所在地	豊橋市東新町245番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 230,000万円
③ 従業員数	40人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事 既設構造物取壊し 舗装工事 既設舗装撤去 建築工事 旧建築物解体 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 混合物→最終処分業者に委託して埋立処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社管理企画部 部長 今泉守雄 総括責任者 建築部長 朝倉真樹 処理責任者 土木部長 佐々木進一 工事現場管理責任者 下請会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	排 出 量	0.6 t	14122.5t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	排 出 量	5 t	3000 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に無し		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社管理企画部 部長 今泉守雄 総括責任者 建築部長 朝倉真樹 処理責任者 土木部長 佐々木進一 工事現場管理責任者 下請会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック
	排 出 量	1236.41t	269.5t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック
	排 出 量	100t	5t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に無し		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社管理企画部 部長 今泉守雄 総括責任者 建築部長 朝倉真樹 処理責任者 土木部長 佐々木進一 工事現場管理責任者 下請会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	繊維くず
	排 出 量	12t	4.56t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	繊維くず
	排 出 量	10t	1t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に無し		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社管理企画部 部長 今泉守雄 総括責任者 建築部長 朝倉真樹 処理責任者 土木部長 佐々木進一 工事現場管理責任者 下請会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	混合物
	排 出 量	0.18t	6.24t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	混合物
	排 出 量	1t	5t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に無し		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社管理企画部 部長 今泉守雄 総括責任者 建築部長 朝倉真樹 処理責任者 土木部長 佐々木進一 工事現場管理責任者 下請会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有がれき	石綿含有廃プラスチック
	排 出 量	12.9t	8.1t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有がれき	石綿含有廃プラスチック
	排 出 量	10t	5t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に無し		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社管理企画部 部長 今泉守雄 総括責任者 建築部長 朝倉真樹 処理責任者 土木部長 佐々木進一 工事現場管理責任者 下請会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	特定有害廃石綿等	
	排 出 量	16.8t	
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	特定有害廃石綿等	
	排 出 量	10t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に無し		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		汚泥	がれき類
	全 処 理 委 託 量		0.6t	14122.5t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理委 託 量	0.6t	14122.5t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		木くず	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量		1236.41t	269.5t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理委 託 量	1236.41t	269.5t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		ガラス・陶磁器くず	繊維くず
	全 処 理 委 託 量		12t	4.56t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理委 託 量	12t	4.56t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		廃油	混合物
	全 処 理 委 託 量		0.18t	6.24t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理委 託 量	0.18t	6.24t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		石綿含有がれき	石綿含有廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量		12.9t	8.1t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理委 託 量	12.9t	8.1t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		特定有害廃石綿等	
	全 処 理 委 託 量		16.8t	t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理委 託 量	16.8t	t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
		全処理委託量	5 t	3000 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理 委託量	5 t	3000 t
		認定熱回収業者への処 理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 特になし		
	※事務処理欄			

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		木くず	廃プラスチック
		全処理委託量		100t	5 t
			優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
			再生利用業者への処理 委 託 量	100t	5 t
			認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 特になし			
	※事務処理欄				

	②計画	【目標】			
		産 業 廃 棄 物 の 種 類		ガラス・陶磁器くず	繊維くず
		全 処 理 委 託 量		10t	1 t
			優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
			再生利用業者への処理 委 託 量	10t	1 t
			認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 特になし			
※事務処理欄					

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃油	混合物
		全処理委託量	1t	5t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理 委託量	1t	5t
		認定熱回収業者への処 理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 特になし		
	※事務処理欄			

	②計画	【目標】			
		産 業 廃 棄 物 の 種 類		石綿含有がれき	石綿含有廃プラスチック
		全 処 理 委 託 量		10t	5 t
			優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
			再生利用業者への処理 委 託 量	10t	5 t
			認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 特になし			
		※事務処理欄			

②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		特定有害廃石綿等	
	全 処 理 委 託 量		10t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処理 委 託 量	10t	t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし			
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和5年度の産業廃棄物発生量及び令和6年度の目標

(單位: 十/年)

[illegible]

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 2 5 日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所	豊橋市清須町字兵庫 8 8 番地
氏名	北河建設興業株式会社
代表取締役	北河 幹生
電話番号	0532-31-2136
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	北河建設興業株式会社
事業場の所在地	愛知県豊橋市清須町字兵庫 8 8 番地
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 : 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 : 84,032 万円
③ 従業員数	30人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事 準備工 木屑（伐採工） 旧施設撤去工 がれき類（アスファルト及びコンクリート塊）、 汚泥、金属くず、陶管、廃プラスチック、石綿管類 雑工、片付け工 廃プラスチック、木屑、がれき類及び混合がれき類、木屑、廃プラ、陶管、 金属等は再生処理により再資源化混合（安定型）は中間処理後埋立処分 にて選別後再資源化石綿管等は、管理型処分場にて最終処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 当社工事部 ↓ 工事部長（廃棄物処理総括責任者） ↓ 産業廃棄物管理担当 ↓ 工事部工事課 ├→各工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者） └→産業廃棄物運搬及び処理業者管理責任者（下請会社）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ① 現場における廃棄物の分別 ② 施工方法の工夫、顧客との協議により取壊し量の減量を図り排出量の抑制に努める。 ③ 材料の発注量を厳密に管理し、無駄な廃棄物を出さない。 ④ 梱包材を簡素化すると共に、パレット等は製造業者に返品し再利用してもらう。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ① 現場において、当社及び不必要な資機材の持込を禁止し、周知徹底させる。 ② 現場へ分別処理ボックスを設置するなど工夫し、無駄な廃棄物等を出さない。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し、処理を委託している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		別紙参照	
	全処理委託量		1982 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	18 t	t
		再生利用業者への処理委託量	1973 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。			

	②計画	【目標】		
		産 業 廃 棄 物 の 種 類	別紙参照	
		全 処 理 委 託 量	1,640 t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	30 t	t
		再生利用業者への処理 委 託 量	1630 t	t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和6年 6月 30日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 豊橋市西幸町字笠松38番地10		
氏名 日下建設株式会社		
代表取締役 増田 好則		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0532-46-2631		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	日下建設株式会社	
事業場の所在地	豊橋市西幸町字笠松38番地10	
計画期間	自 令和6年 4月 1日 至 令和7年 3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	総合工事業	
②事業の規模	元請完成工事高 14億5000万円	
③従業員数	26名	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場（産業廃棄物発生全数） ↓ 委託中間処理業者	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制)

工事部管理課長（廃棄物処理統括責任者）



各工事現場責任者（現場代理人）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙のとおり

①現状	【前年度（令和5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	(今後実施する予定の取組)					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別種類： がれき類、木くず等に分別している。 取組方法： 各現場における産業廃棄物の分別を徹底し、法令を遵守して適正な処理を行います。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同 上

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合物	木くず	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶器くず	紙くず	その他がれき類	
	排出量	636t	239t	210t	10t	2t	6t	2t	1t	16t	
	（これまでに実施した取組） 建設業のため、受注工事の内容により産業廃棄物の排出量が大幅に増減するため、受注工事毎に現状把握と目標値を定める。 排出量の抑制については、特に舗装工事によるがれき類の産業廃棄物の削減に重点をおいて実施している。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合物	木くず	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶器くず	紙くず	その他がれき類	
	排出量	1,000t	200t	10t	10t	1t	2t	1t	1t	5t	
	（今後実施する予定の取組） 今後も、今まで行った取り組みを基本に更なる産業廃棄物の抑制に取り組んでいきます。										

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—		—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—		—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t	
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙のとおり					
①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量				
	優良認定処理業者への処理委託量				
	再生利用業者への処理委託量				
	認定熱回収業者への処理委託量				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
(これまでに実施した取組)					

(第4面) 別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項												
①現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】											
	産業廃棄物の種類		がれき類	汚泥	混合物	木くず	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶器くず	紙くず	その他がれき類	
	全 処 理 委 託 量		636 t	239 t	210 t	10 t	2 t	6 t	2 t	1 t	16 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		—	—	—	—	—	—	2 t	1 t	16 t	
	再生利用業者への処理委託量		636 t	239 t	210 t	10 t	2 t	6 t	—	—	—	
	認定熱回収業者への処理委託量		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	（これまでに実施した取組）											
関係機関による産業廃棄物による講習会等の受講や、通知文書等の回覧にて社員への産業廃棄物の処理や委託に関する事項の周知徹底に取り組んで行きます。												

②計画	【目標】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類				
	全 処 理 委 託 量				
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量			
		再生利用業者への処理 委 託 量			
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量			
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			
	(今後実施する予定の取組)				
	※事務処理欄				

(第5面) 別紙

②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類		がれき類	汚泥	混合物	木くず	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶器くず	紙くず	その他がれき類	
	全処理委託量		1,000t	200t	10t	10t	1t	2t	1t	1t	5t	
		優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	1t	1t	5t	
		再生利用業者への処理委託量	1,000t	200t	10t	10t	1t	2t	—	—	—	
		認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	(今後実施する予定の取組)											
	産業廃棄物の処理や委託に関する取扱い方法について、間違いのない取扱いを徹底する予定です。											
	※事務処理欄											

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和5年度の産業廃棄物発生量及び令和6年度の目標

(單位：t/年)

[illegible]

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 30日	
豊橋市長 殿	
提出者	
東京都港区東新橋一丁目9番1号 東京汐留ビルディング18階	
株式会社ピーエス三菱 東京土木支店	
支店長 武田 哲郎	
電話番号 03-6385-8082	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ピーエス三菱 東京土木支店
事業場の所在地	東京都港区東新橋一丁目9番1号東京汐留ビルディング18階
計画期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	エリア内元請完成工事高 17,812百万円／年
③ 従業員数	155人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	基礎工事・躯体工事→がれき類(コンクリートがら)→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化、基礎工事・躯体工事→廃プラスチック類→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化、基礎工事・躯体工事→金属くず→再生処理業者に委託して、スクラップとして再資源化、基礎工事・躯体工事→木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化、基礎工事・躯体工事→廃石膏ボード→広域認定制度等により再資源化、基礎工事→汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、流動化処理土埋立処分、基礎工事・躯体工事→混合物→中間処理業者に委託して、分別実施、それぞれ再資源化等を実施

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	木くず（伐木除根材等）
	排出量	35.71 t	3,642.83 t
	(これまでに実施した取組) ・包装材の簡素化を行う。 ・無駄な発注を避ける。 ・不具合・不適合製品（構造物）を発生させない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	木くず（伐木除根材等）
	排出量	500 t	1,000 t
	(今後実施する予定の取組) ・工法の改善（例えば現場加工→工場製作現場組立）を検討する。 ・プレキャスト化の設計・施工の取り組み		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類、廃石膏ボード、紙くず（段ボール）はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・継続して分別保管を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		コンクリートがら	木くず（伐木除根材等）
	全処理委託量		35.71 t	3,642.83 t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	3,642.83 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行うことで、最終処分量の低減を図る。			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	木くず（伐木除根材等）
	全処理委託量	500.0 t	1,000.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1,000.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者に優良認定処理業者の選定を増やしていく様、努力する。 ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

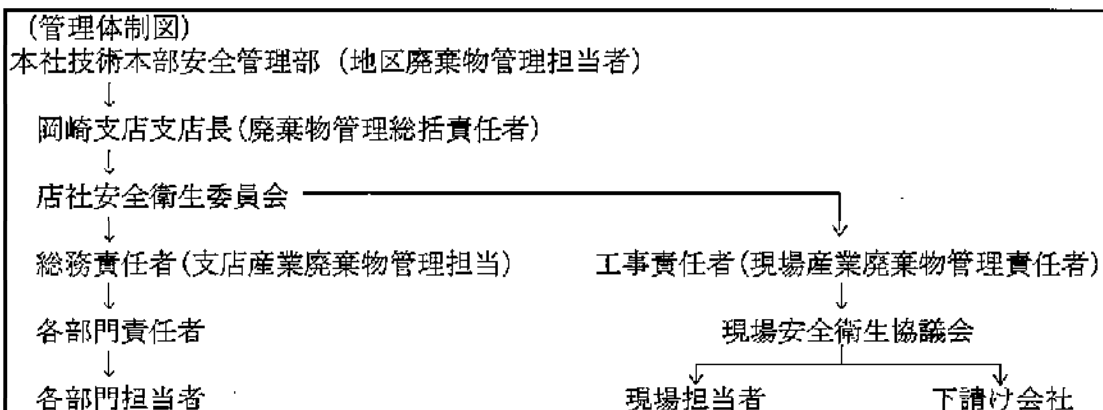
産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月30日	
豊 橋 市 長 殿	
提出者	
住所 愛知県岡崎市竜美南1丁目1番地8	
氏名 大和ハウス工業株式会社 岡崎支店	
支店長 小山 能弘	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0564-54-2908	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 岡崎支店
事業場の所在地	愛知県岡崎市竜美南1丁目1番地8
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06：総合工事業（日本標準産業分類中分類（コード含む））
②事業の規模	元請完成工事高： 1,615,550万円/年
③従業員数	176人（前年度の3月31日時点の従業員数）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	新築工事、増改築工事、解体工事 ：がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 金属くず→再生処理業者に委託して金属原料として再資源化 ダンボール→再生処理業者に委託して紙原料として再資源化 紙→再生処理業者に委託してRPFとして再資源化 ※上記の品目で1部再資源化不可のものは埋立ある単純焼却 自社工場製品 ：がれき、混合物以外は13品目に分別し自社工場へ一括回収し、品目別に中間処理・再生処理業者に処理委託し再資源化

(単位:t)

(單位:t)[illegible]

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	① 排 出 量	
	（これまでに実施した取組） 1. 住宅系新築工事における当社商品の工業化 ・ 梱包材を極力簡素化して現場納入を実施、及び梱包材の再利用 ・ 石膏ボードや瓦、内装下地材のプレカット化 2. 建築系新築工事における1部工業化 ・ 外壁のパネル化	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	① 排 出 量	
	（今後実施する予定の取組） ・ 現場調達材やプレカットの精度向上を検討する	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・住宅系新築工事は13品目に分別 ・建築系新築工事は廃プラ、金属くず、木くず、紙くず、ダンボール、石膏ボード、ガラス陶磁器くず等5～7品目に分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状を継続し分別の精度向上を検討する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	② + ③ 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	② + ③ 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	⑤ 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	
	⑦ 自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	⑤ 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	
	⑦ 自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	③ 自ら埋立処分又は + 海洋投入処分を行った ④ 産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) ・実施していない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	③ 自ら埋立処分又は + 海洋投入処分を行う ④ 産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定は無い。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	⑩ 全処理委託量	
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	（これまでに実施した取組） ・委託基準にしたがって処理委託基本契約の締結及び処理系統管理、マニフェスト発行など当社システムによる管理を実施。 ・可能な限り優良認定業者や再生利用業者への処理委託を行い、最終埋立処分量の低減をはかる。 ・委託業者の選定基準により書類・現地審査を実施し、可否の判定を実施している。現地確認も毎年継続して実施している。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
	⑩ 全 処 理 委 託 量	
	⑪ 優良認定処理業者 への処理委託量	
	⑫ 再生利用業者への 処 理 委 託 量	
	⑬ 認定熱回収業者 への処理委託量	
	⑭ 認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	
(今後実施する予定の取組) ・委託基準管理事項の継続 ・可能な限り優良認定処理業者を選定し再資源化率の向上を図る。 ・処理委託業者施設の定期現地確認を継続する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。